

標準行間

9ポイントの文字を使用

火鉢に炭を継つがうとしたら、炭がもう二つしかなかつた。炭取の底には炭の粉こなの中に、何か木この葉が乾反ひぞつてゐる。何処どの山から来た木の葉か？——今日けふの夕刊に出てゐたのでは、木曾きそのおん岳たけの初雪も例年よりずっと早かつたらしい。「お父さん、お休みなさい。」



比較的読みやすいが、ルビ(フリガナ)入れるのはちょっと辛い。

少し詰め気味

9ポイントの文字を使用

火鉢に炭を継つがうとしたら、炭がもう二つしかなかつた。炭取の底には炭の粉こなの中に、何か木この葉が乾反ひぞつてゐる。何処どの山から来た木の葉か？——今日けふの夕刊に出てゐたのでは、木曾きそのおん岳たけの初雪も例年よりずっと早かつたらしい。「お父さん、お休みなさい。」



おかしくはないけど、ちょっと読みづらいかも。

かなり詰め気味

9ポイントの文字を使用

火鉢に炭を継つがうとしたら、炭がもう二つしかなかつた。炭取の底には炭の粉こなの中に、何か木この葉が乾反ひぞつてゐる。何処どの山から来た木の葉か？——今日けふの夕刊に出てゐたのでは、木曾きそのおん岳たけの初雪も例年よりずっと早かつたらしい。「お父さん、お休みなさい。」
古い朱塗しゆぬりの机の上には至生犀星むろふさいせ



窮屈すぎて、読むにはちょっと疲れる。

少し広め

9ポイントの文字を使用

火鉢に炭を継つがうとしたら、炭がもう二つしかなかつた。炭取の底には炭の粉こなの中に、何か木この葉が乾反ひぞつてゐる。何処どの山から来た木の葉か？——今日けふの夕刊に出てゐたのでは、木曾きそのおん岳たけの初雪も例年よりずっと早かつたらしい。



余白が十分で、読みやすい行間。

かなり広め

9ポイントの文字を使用

火鉢に炭を継つがうとしたら、炭がもう二つしかなかつた。炭取の底には炭の粉こなの中に、何か木この葉が乾反ひぞつてゐる。何処どの山から来た木の葉か？——今日けふの夕刊に出てゐたのでは、木曾きそのおん岳たけの初雪も例年よりずっと早かつたらしい。



読みやすいが、広さが少し気になる。好き嫌いが分かれるかも。